

## 栃木県総合運動公園と陸上競技場の施設概要

H24. 6. 21 都市整備課

## 1. 公園の概要

## 整備経過

- 昭和 23 年 明るく健康な県民育成を目的に「宇都宮総合運動場」の整備に着手
- 昭和 28 年 32ha オープン（陸上競技場、野球場、庭球場、水泳場、駐車場等）
- 昭和 35 年 児童遊園地竣工
- 昭和 44 年 国体開催に向け施設を充実すべく区域を拡張  
公園名称を「宇都宮総合運動公園」に変更
- 昭和 49 年 都市公園として供用開始
- 昭和 52 年 補助競技場竣工
- 昭和 54 年 公園の総面積を現在の約 50ha に拡張  
陸上競技場・トレーニングセンター竣工、硬式野球場改築、第 2 駐車場整備  
とちのきファミリーランドオープン
- 昭和 55 年 「栃の葉国体」（第 35 回国民体育大会）開催
- 昭和 56 年 公園名称を現在の「栃木県総合運動公園」に変更
- 平成 15 年 陸上競技場改修

## 主な公園施設

- ・陸上競技場 （33,300 m<sup>2</sup> 第 1 種公認全天候 400m 9レーン）
- ・補助競技場 （17,500 m<sup>2</sup> 第 4 種公認一部全天候 300m 6レーン）
- ・硬式野球場 （21,100 m<sup>2</sup> 内野シンダー、外野芝生） 1 面
- ・軟式野球場 （52,500 m<sup>2</sup> 内野シンダー、外野芝生） 3 面
- ・水泳場 （11,000 m<sup>2</sup> 公認 50m プール 9 コース、飛び込み 1 面他）
- ・テニスコート （21,000 m<sup>2</sup> 全天候砂入り人工芝） 16 面
- ・サッカー・ラグビー場 （66,800 m<sup>2</sup> サッカー 2 面、ラグビー 1 面、兼用 1 面） 4 面
- ・トレーニングセンター （2,465 m<sup>2</sup> SRC 2 階、トレーニング室、アリーナ） 1 棟
- ・とちのきファミリーランド （33,000 m<sup>2</sup> ジェットコースター等 12 機種）
- ・駐車場<sup>※1</sup> （29,304 m<sup>2</sup> 大型 48 台、普通 878 台）

※1 高校野球大会等開催時は、元運転免許試験場（300 台）と元競馬場（1,500 台）を臨時駐車場として活用

## 管理運営

指定管理者：（公財）栃木県民公園福祉協会

## 利用状況

（単位：千人）

栃木県 総合運動公園	公園利用者数	内、スポーツ施設 利用者数	
		内、陸上競技場 利用者数 ※2	
平成21年度	773	460	171
平成22年度	681	395	113
平成23年度	776	434	122

※2 補助競技場利用者数を含む

## 2. 陸上競技場の概要

竣工 昭和54年3月竣工（築33年経過）

敷地面積 3.3ha

種別 第1種公認陸上競技場B（日本陸上競技連盟公認）

### 施設概要

- ・トラック 走路一周400m、全天候舗装9レーン
- ・フィールド（芝） 走幅跳、棒高跳、槍・円盤・ハンマー・砲丸投げ、兼用サッカー場
- ・メインスタンド（RC3階 4,116㎡） 事務室、管理室、役員室、会議室、更衣室、医務室、便所、用器具庫、屋内練習場、貴賓室、放送室等
- ・芝生スタンド（盛土3ブロック 5,000㎡） ダッグアウト、炬火台、雨天練習場等
- ・収容人員 24,000人（メインスタンド 7,000人、芝生スタンド 17,000人）

### 施設の課題

- ・施設の老朽化
- ・施設（エレベーター、便所等）のバリアフリー化が不十分
- ・全国大会等（競技レベルの高い大会）の誘致が困難となる可能性※3

※3 現在の日本陸上競技連盟の認定は、特例措置としての「第1種公認陸上競技場B」